

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス

上場取引所 東 福

コード番号 8203 URL <http://www.mrmax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平野 能章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理本部長

(氏名) 中野 英一

TEL 092-623-1111

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	23,470	—	48	—	88	—	△963	—
20年3月期第1四半期	23,236	3.7	172	△30.5	250	△24.5	149	3.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△27.37	—
20年3月期第1四半期	4.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	76,528	—	26,465	—	34.5	—	750.41	—
20年3月期	76,375	—	27,601	—	36.1	—	782.69	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 26,429百万円 20年3月期 27,567百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	49,900	—	300	—	380	—	△730	—	△20.73
通期	100,480	0.9	1,200	66.7	1,400	59.2	200	△70.0	5.68

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他 を参照ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他 を参照ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 39,611,134株 20年3月期 39,611,134株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 4,391,063株 20年3月期 4,389,213株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 35,220,954株 20年3月期第1四半期 35,772,820株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後、個人消費や気象条件など様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経営成績は、米、酒類、スナック菓子等の食品の売上が好調だった一方で、昨年の任天堂DSのヒットの反動でゲーム機本体の売上が前年を下回った他、DVDレコーダー、プレーヤーやエアコンの売上が伸び悩んだことなどから、売上高は前年同期比0.8%の増加に留まり、売上高に不動産賃貸収入を加えた営業収益は234億70百万円(前年同期比101.0%)となりました。

重点商品に絞って仕入活動により、荒利益率が前年同期比0.5%改善したことなどから、売上総利益は前年同期比3.2%増加し、不動産賃貸収入を加えた営業総利益は58億96百万円(前年同期比103.7%)となりましたが、主に、昨年7月に開業した町田多摩境ショッピングセンターと筑紫野店の経費が、今年4～6月の経費の増加要因となったことなどから、販売費及び一般管理費は58億48百万円(前年同期比106.0%)と増加し、営業利益は48百万円(前年同期比28.3%)、経常利益は88百万円(前年同期比35.2%)となりました。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用により、期首在庫にかかる棚卸資産の変更差額10億26百万円を特別損失に計上しました。この結果、当四半期純損失は9億63百万円(前年同期は1億49百万円の黒字)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産・負債・純資産の状況

## (総資産)

当第1四半期末における総資産は、売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1億52百万円増加し、765億28百万円となりました。

## (負債)

負債は、買掛金や長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて12億88百万円増加し、500億62百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて11億35百万円減少し、264億65百万円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が9億29百万円の損失となり、また、売上債権が6億19百万円増加した一方で、減価償却費4億63百万円、たな卸資産の減少4億76百万円、仕入債務の増加4億19百万円などにより、営業活動により得られた資金は32百万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得99百万円、無形固定資産の取得69百万円などにより、投資活動に使用した資金は、3億7百万円となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金による収入30億円に対し、長期・短期の借入れを22億32百万円返済したことなどにより、財務活動により得られた資金は6億6百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前会計年度末に比べ3億31百万円増加し、15億81百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月9日に公表いたしました「平成20年3月期 決算短信」記載の業績予想を修正し、本日(平成20年7月30日)、「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

期初において、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う期首在庫にかかる変更差額を、6億5千万円と見込んでおりましたが、売価還元法による棚卸資産の評価に用いる原価率を見直した結果、変更差額は10億26百万円となり、同額を特別損失に計上いたしました。

第1四半期における売上高は期初予想(四半期予想は未公表)を下回りましたが、九州北部は例年より12日、昨年より17日早く梅雨明けし、エアコンなど夏物商材の販売が好調なことから、第2四半期及び通期の営業収益の予想を据え置きます。

一方、重点商品に絞り込んだ仕入活動により、第1四半期における連結荒利益率は前年同期実績を0.5%上回り、21.6%となりました。重点商品への絞り込みを仕入れから販売まで徹底することで、荒利益率の改善は年間を通じて期初予想を上回るものと予想し、通期の連結営業利益を12億円に、同じく通期の連結経常利益を14億円に上方修正いたします。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 固定資産の減価償却費の算定方法は、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。
- ② 法人税等の計上基準については見積実効税率により計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,581	1,250
売掛金	1,730	1,134
商品	8,889	9,370
その他	1,260	1,316
流動資産合計	13,462	13,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,449	19,715
土地	28,764	28,764
その他	903	920
有形固定資産合計	49,116	49,400
無形固定資産	323	289
投資その他の資産		
投資有価証券	481	459
その他	13,149	13,158
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	13,625	13,613
固定資産合計	63,065	63,303
資産合計	76,528	76,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,263	12,846
短期借入金	370	530
1年内返済予定の長期借入金	8,178	7,898
未払法人税等	52	30
賞与引当金	208	414
その他	3,478	3,118
流動負債合計	25,551	24,838
固定負債		
長期借入金	15,733	15,085
退職給付引当金	411	405
その他	8,366	8,445
固定負債合計	24,511	23,936
負債合計	50,062	48,774

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,951	9,951
利益剰余金	8,157	9,297
自己株式	△1,893	△1,893
株主資本合計	26,444	27,585
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15	△13
繰延ヘッジ損益	—	△3
評価・換算差額等合計	△15	△17
少数株主持分	36	33
純資産合計	26,465	27,601
負債純資産合計	76,528	76,375

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	22,406
売上原価	17,573
売上総利益	4,833
不動産賃貸収入	1,063
営業総利益	5,896
販売費及び一般管理費	
販売費	1,227
一般管理費	4,620
販売費及び一般管理費合計	5,848
営業利益	48
営業外収益	
受取利息	23
受取手数料	45
仕入割引	45
その他	44
営業外収益合計	158
営業外費用	
支払利息	87
その他	32
営業外費用合計	119
経常利益	88
特別利益	14
特別損失	
固定資産除却損	5
たな卸資産評価損	1,026
特別損失合計	1,032
税金等調整前四半期純損失(△)	△929
法人税、住民税及び事業税	31
法人税等調整額	—
少数株主利益	3
四半期純損失(△)	△963

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	△929
減価償却費	463
受取利息及び受取配当金	△25
支払利息	87
有形固定資産除却損	5
売上債権の増減額(△は増加)	△619
たな卸資産の増減額(△は増加)	476
仕入債務の増減額(△は減少)	419
その他	245
小計	123
利息及び配当金の受取額	5
利息の支払額	△78
法人税等の支払額	△18
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>32</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△99
無形固定資産の取得による支出	△69
投資有価証券の取得による支出	△24
投資有価証券の売却による収入	0
その他	△114
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△307</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△160
長期借入れによる収入	3,000
長期借入金の返済による支出	△2,072
配当金の支払額	△161
その他	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>606</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>331</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,250
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,581</b>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	22,231
II 売上原価	17,548
売上総利益	4,683
III 不動産賃貸収入	1,004
営業総利益	5,688
III 販売費及び一般管理費	5,516
1. 販売費	1,167
2. 一般管理費	4,349
営業利益	172
IV 営業外収益	154
1. 受取利息	19
2. 受取手数料	45
3. 仕入割引	56
4. その他	32
V 営業外費用	76
1. 支払利息	74
2. その他	1
経常利益	250
VI 特別利益	20
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	270
税金費用	126
法人税等調整額	0
少数株主損失	5
四半期純利益	149

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	270
減価償却費	449
受取利息及び受取配当金	△23
支払利息	74
たな卸資産の増加額	△1,423
売上債権の増加額	△985
仕入債務の増加額	1,680
その他	99
小計	142
利息及び配当金の受取額	6
利息の支払額	△64
法人税等の支払額	△758
営業活動によるキャッシュ・フロー	△673
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	30
投資有価証券の取得による支出	△44
有形固定資産の取得による支出	△185
無形固定資産の取得による支出	△8
その他	324
投資活動によるキャッシュ・フロー	116
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加額	1,740
長期借入金による収入	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,295
配当金の支払額	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	282
IV 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	△274
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,136
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,862